

# 景気見通し調査(平成26年12月期)

## 調査結果

福井商工会議所  
中小企業総合支援センター

### 【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

- 調査時期** 平成26年11月27日(木)～12月3日(水)  
**調査方法** F A Xによる送付、回収  
**調査対象** 福井商工会議所 会員小規模事業所より 350件を抽出  
(製造業・建設業・・・従業員20人以下の事業所  
卸・小売業、商業・サービス・その他・・・従業員5人以下の事業所)  
**回答数** 183件 (回収率52.3%)

	製造	建設	卸・小売業	サービス・その他	合計
5人以内	14	15	26	18	73(39.9)
6～10人	10	19	7	13	49(26.8)
11人以上	16	15	17	13	61(33.3)
合計	40(21.9)	49(26.8)	50(27.3)	44(24.0)	183

### 文中にでてくる「DI値」とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇」したとする企業割合から、「悪い」「下落」したとする企業割合を差し引いた値。

## 【調査結果の概要】

### 持ち直しの動きに足踏み感 先行きは依然慎重な見通し

- 1) **業界の景況**は、「現在」DI 値が▲40.7と前回調査(H26.9)から2.6ポイントの悪化となり、改善の動きが見られたのは「製造業」のみであった。前回調査の先行 DI 値(▲37.6)では若干の改善を見込んでいたが、足踏み感が見られた。「今後(3ヶ月後)」の先行 DI 値は▲44.2と、現在と比べ 3.5 ポイントの悪化となる見通しであり、業種別では、「製造業」「サービス・その他」で現在より落ち込む予想となった。
- 2) **自社の景況**は、「現在」DI 値が▲23.6と前回調査と比べて6.8ポイントの改善と持ち直しが続いている。業種別に見ると、「サービス・その他」と、特に「製造業」での改善幅が大きく、全体を押し上げた。「今後(3ヶ月後)」の先行 DI 値は▲33.1と、現在と比べ9.5ポイントの悪化を予想。業種別では、「卸・小売業」を除いて落ち込みの見通しで、特に「サービス・その他」の悪化が顕著になっている。
- 3) **売上(受注高)**について、「現在」の DI 値は▲20.1と前回調査に比べ8.4ポイントの改善。業種別では「製造業」で大きく好転したほか、「卸・小売業」を除いて改善の動きが見られた。一方、「今後(3ヶ月後)」の先行 DI 値は▲30.9と、現在と比べ10.8ポイントの悪化を予想。業種別では、「製造業」の改善傾向は続くが、「サービス・その他」は大幅な悪化を見込んでいる。
- 4) **仕入価格**について「現在」DI 値は▲41.6と前回調査に比べ、5.1ポイント悪化。業種別に見ると、「サービス・その他」を除いて悪化が見られ、円安の影響による原材料価格高騰が負担になっているとの声が聞かれた。「今後(3ヶ月後)」の先行 DI 値は▲34.1と、現在と比べ7.5ポイント改善となり、高止まる見通しとなった。
- 5) **販売価格**は、「現在」DI 値 1.7と前回調査に比べ1.1ポイント上昇。引き続き DI 値はプラス圏を維持する結果となった。業種別では、「建設業」のみ前回より悪化が見られた。「今後(3ヶ月後)」の先行 DI 値は2.2と、現在と比べわずかながら上昇を見込んでいる。
- 6) **採算(収支)状況**について、「現在」DI 値は▲29.5と前回調査と比べて1.8ポイントと緩やかな改善。売上 DI の改善により持ち直しの動きを維持した結果となった。業種別に見ると、「卸・小売業」「製造業」で改善が見られた。「今後(3ヶ月後)」の先行 DI 値は▲40.2と現在と比べて10.7ポイントの悪化見通しとなった。

#### D I 値前回調査との比較

※－(マイナス)は悪化、＋(プラス)は改善

	業界 DI		自社 DI		売上 DI		仕入 DI		販売 DI		採算 DI	
	現在	先行	現在	先行	現在	先行	現在	先行	現在	先行	現在	先行
全業種	-2.6	-6.6	6.8	-4.5	8.4	-2.0	-5.1	9.7	1.1	1.6	1.8	-6.1
製造業	7.8	-1.9	16.7	-0.6	17.4	18.8	-8.3	15.2	4.0	4.6	13.3	5.8
建設業	-5.7	-7.4	-1.3	-9.4	6.5	-12.5	-2.5	7.4	-10.7	-12.5	-7.1	-12.1
卸・小売業	-12.4	-9.3	-3.6	2.1	-3.3	3.2	-13.1	4.9	8.0	16.4	4.2	2.0
サービス・その他	-0.2	-11.1	9.8	-14.0	15.4	-15.6	3.2	10.8	2.3	-3.2	-5.7	-22.1

【業界別動向】

業種		キーワード		業界 (現在)	自社 (現在)	売上動向 (現在)
製造	+	・客先の順調な設備投資(機械製造)	前回 H26. 9			
	-	・円安の影響による原材料高騰(繊維製造)	今回 H26. 12			
建設	+	・工事物件が順調 ・年度末に向け公共工事が増加の見込み	前回 H26. 9			
	-	・仕入単価の上昇	今回 H26. 12			
卸・小売	+	・年末年始の売上増(小売)	前回 H26. 9			
	-	・円安等による仕入値の高騰(卸) ・価格に転嫁できていない(卸)	今回 H26. 12			
サービス・その他	+	・現状の利益は確保できている(サービス)	前回 H26. 9			
	-	・消費税増税後の販売不振が続いている(サービス)	今回 H26. 12			

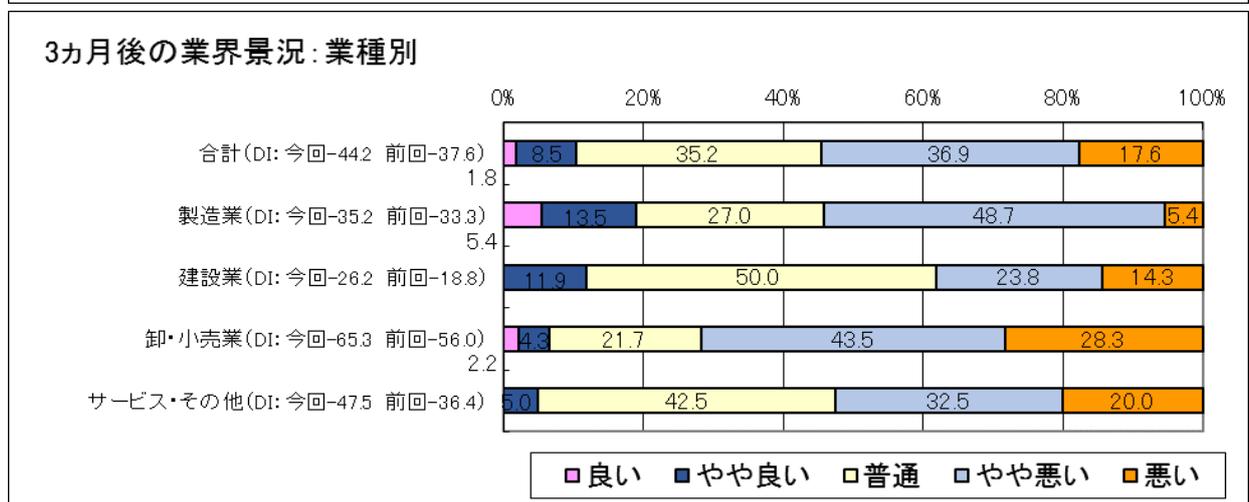
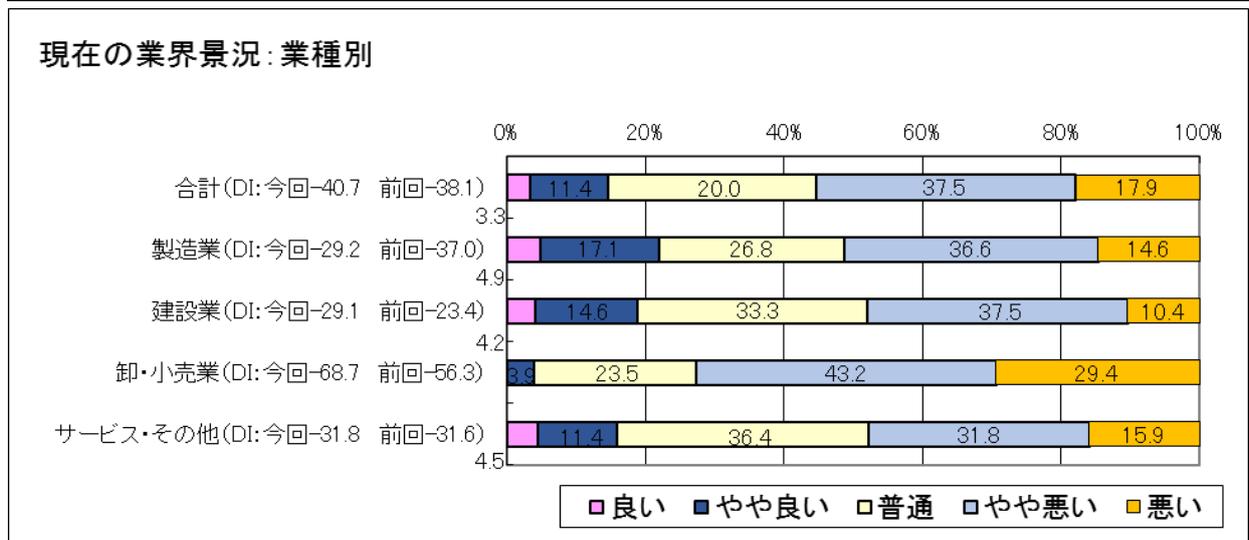
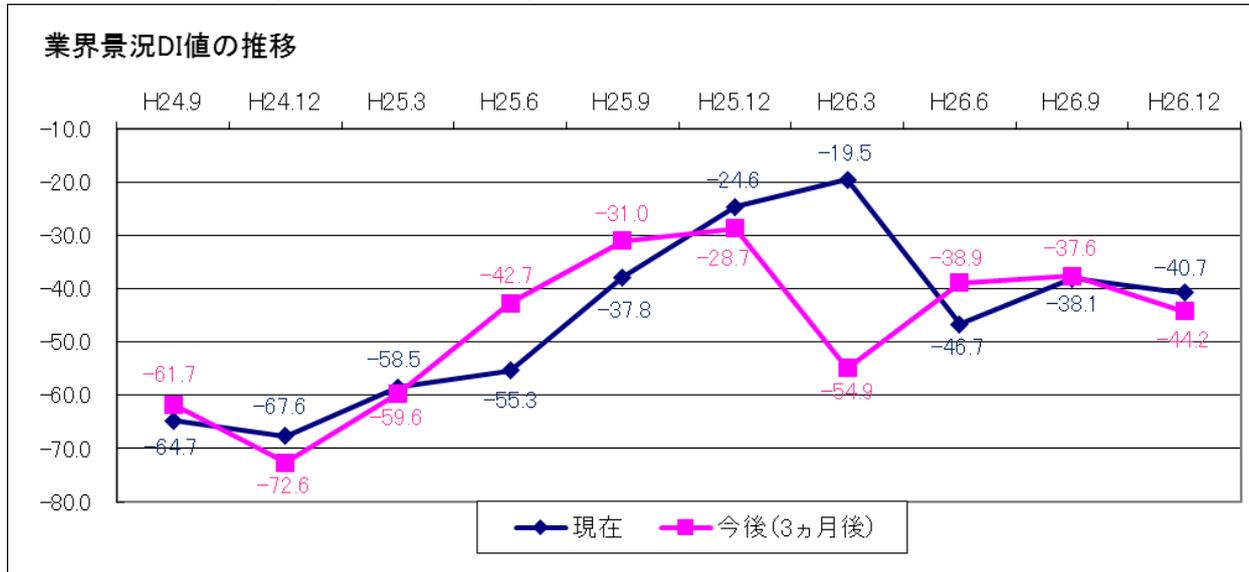
DI値	天気	DI値	天気	DI値	天気
20.1 以上		5.0~▲5.0		▲20.1~▲40.0	
5.1~20.0		▲5.1~▲20.0		▲40.1 以下	

## 【業界の景況】

### 緩やかな持ち直しの動きに足踏み感

業界の景況は、「現在」DI値が▲40.7と前回調査(H26年9月)から2.6ポイントの悪化となり、改善の動きが見られたのは「製造業」のみであった。前回調査の先行DI値(▲37.6)では若干の改善を見込んでいたが、足踏み感が見られた。

「今後(3ヶ月後)」の先行DI値は▲44.2と、現在と比べ3.5ポイントの悪化となる見通しであり、業種別では、「製造業」「サービス・その他」で現在より落ち込む予想となった。

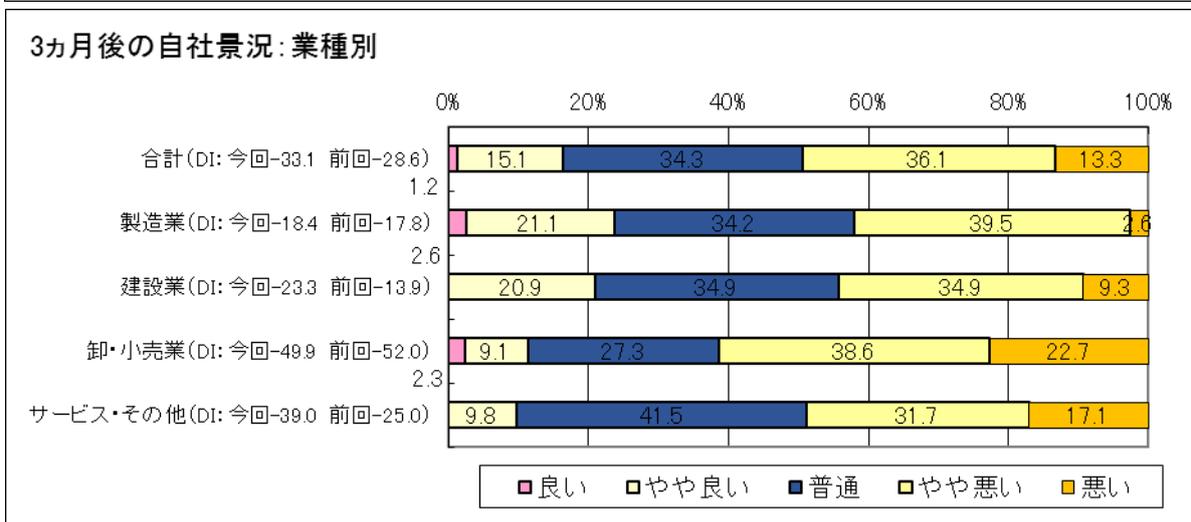
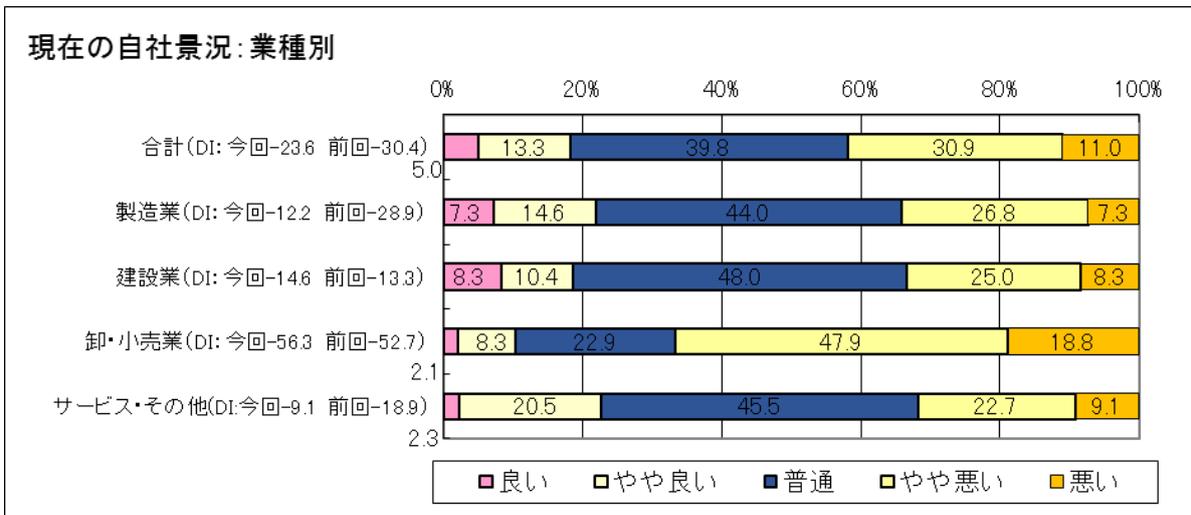
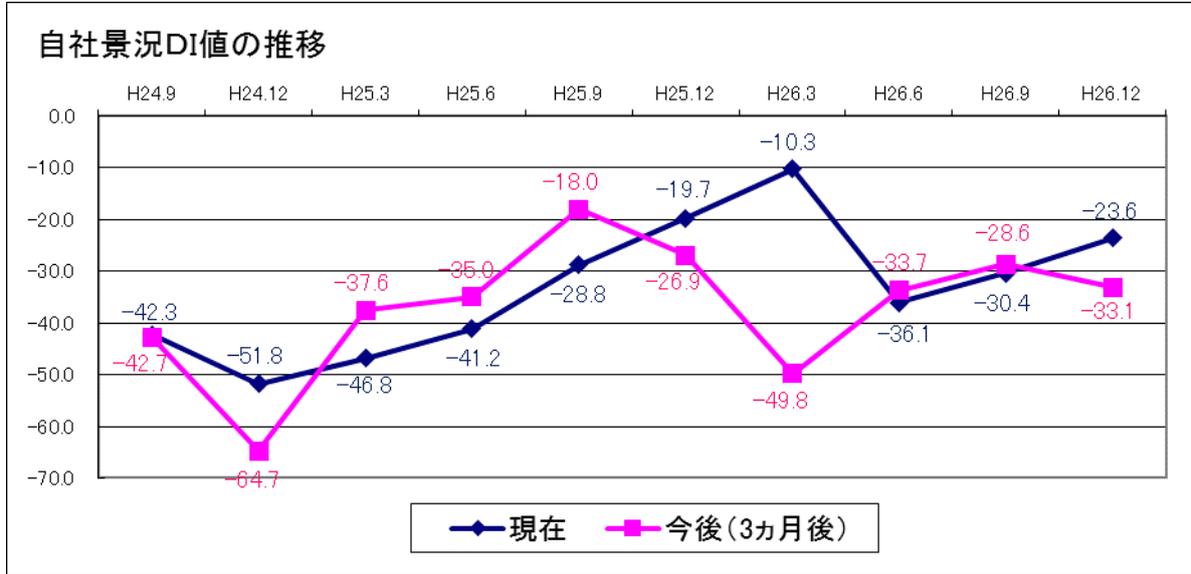


## 【自社の景況】

### 緩やかな持ち直しが続くも 先行き悪化の見通し

「業界の景況 DI」は足踏み感が見られる結果となったが、自社の景況は、「現在」DI 値が▲23.6 と前回調査と比べて 6.8 ポイントの改善と持ち直しが続いている。業種別に見ると、「サービス・その他」と、特に「製造業」での改善幅が大きく、全体を押し上げた。

「今後(3ヶ月後)」の先行 DI 値は▲33.1 と、現在と比べ 9.5 ポイントの悪化を予想。業種別では、「卸・小売業」を除いて落ち込みの見通しで、特に「サービス・その他」の悪化が顕著になっている。

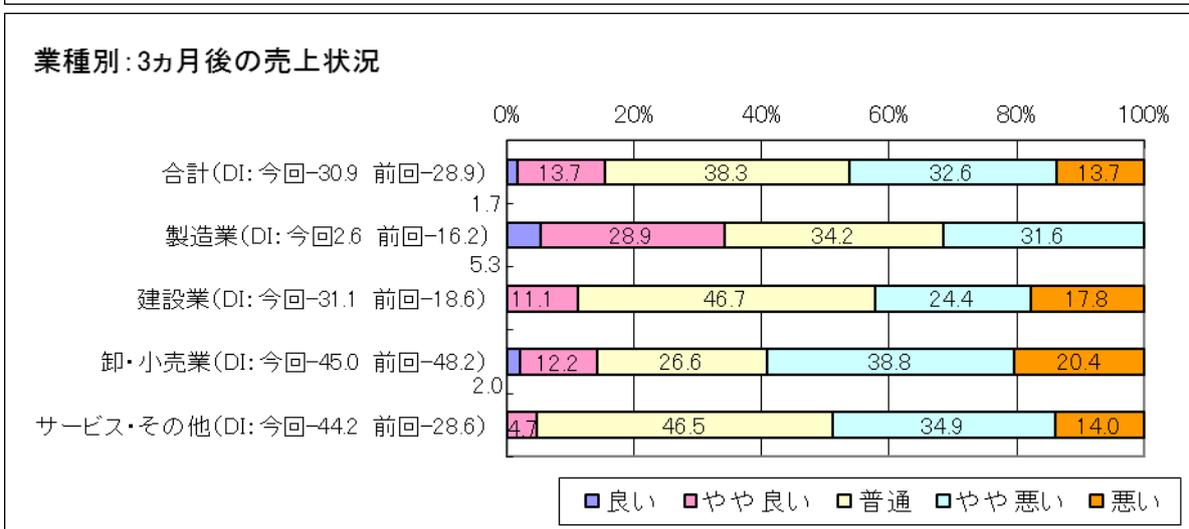
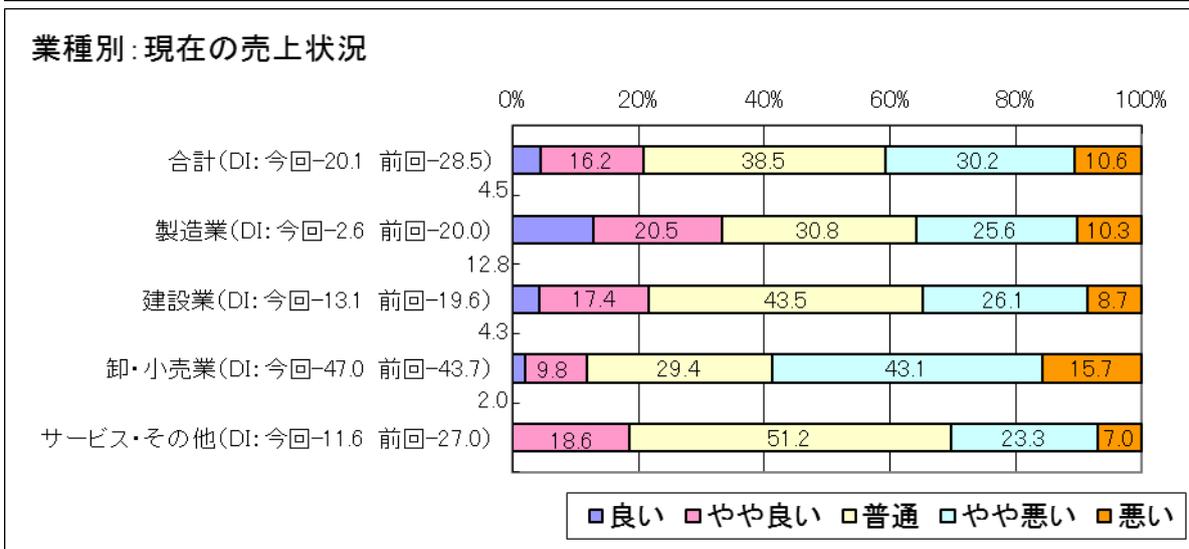
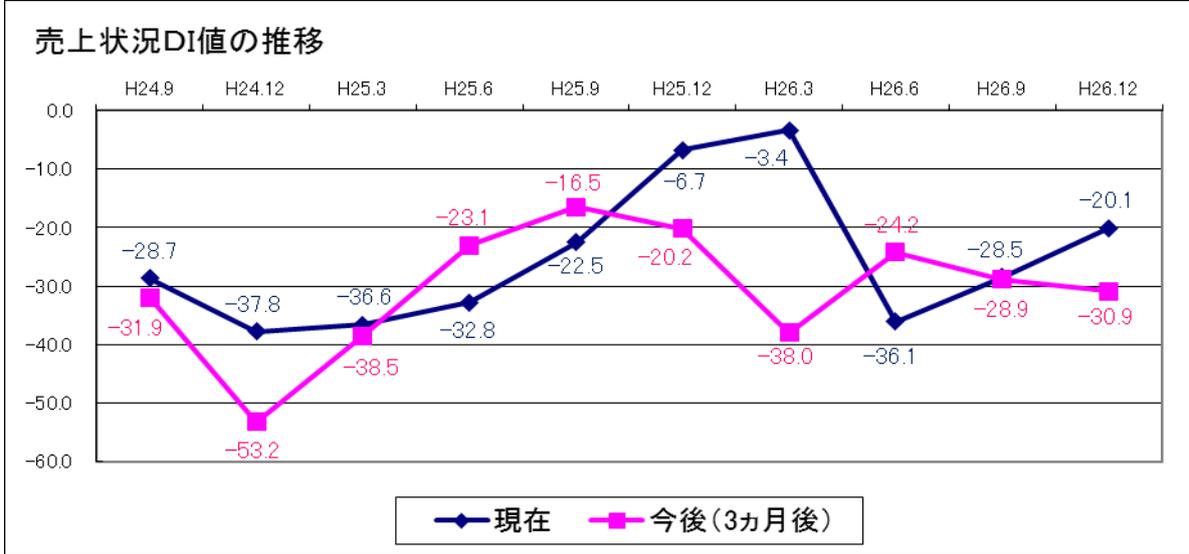


## 【売上(受注高)】

### 改善傾向続くも 先行きは悪化を懸念

売上(受注高)について、「現在」のDI値は▲20.1と前回調査に比べ8.4ポイントの改善。前回調査の先行DI値(▲28.9)ではほぼ横ばいを見込んでいたが、改善が続く結果となった。業種別では「製造業」で大きく好転したほか、「卸・小売業」を除いて改善の動きが見られた。

一方、「今後(3ヶ月後)」の先行DI値は▲30.9と、現在と比べ10.8ポイントの悪化を予想。業種別では、「製造業」の改善傾向が続く一方で、「サービス・その他」は大幅な悪化を見込んでいる。

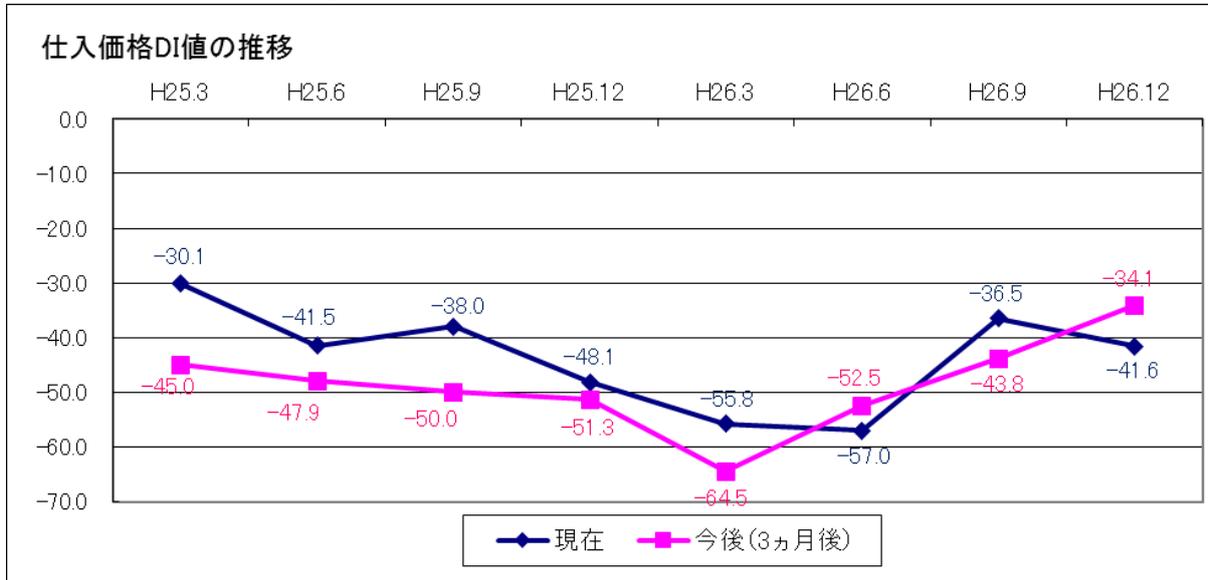


## 【仕入価格】

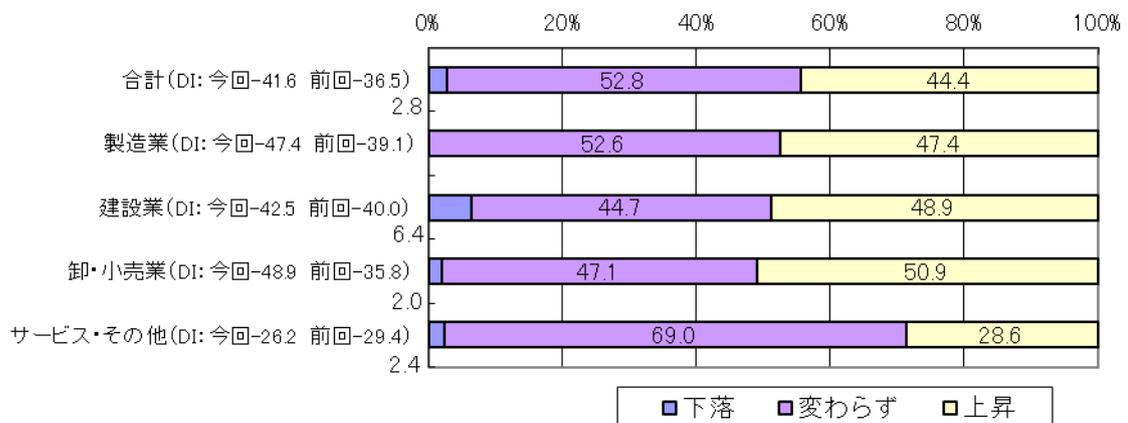
### 仕入価格上昇の動き 円安による影響との声

仕入価格について「現在」DI値は▲41.6と前回調査に比べ、5.1ポイント悪化。業種別に見ると、「サービス・その他」を除いて悪化が見られ、円安の影響による原材料価格高騰が負担になっているとの声が聞かれた。

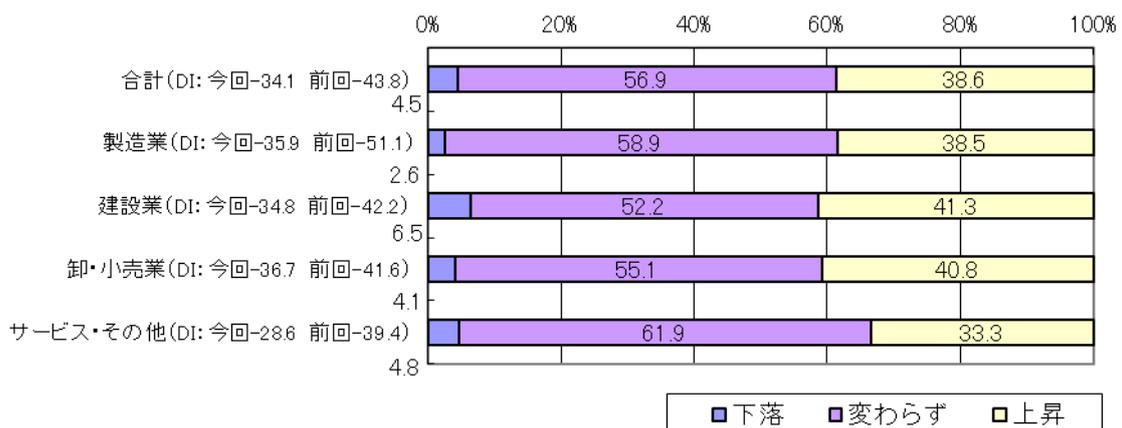
「今後(3ヶ月後)」の先行DI値は▲34.1と、現在と比べ7.5ポイント改善となり、仕入価格の高騰は高止まりの見通しとなった。



#### 業種別: 現在の仕入価格の状況



#### 業種別: 3ヵ月後の仕入状況

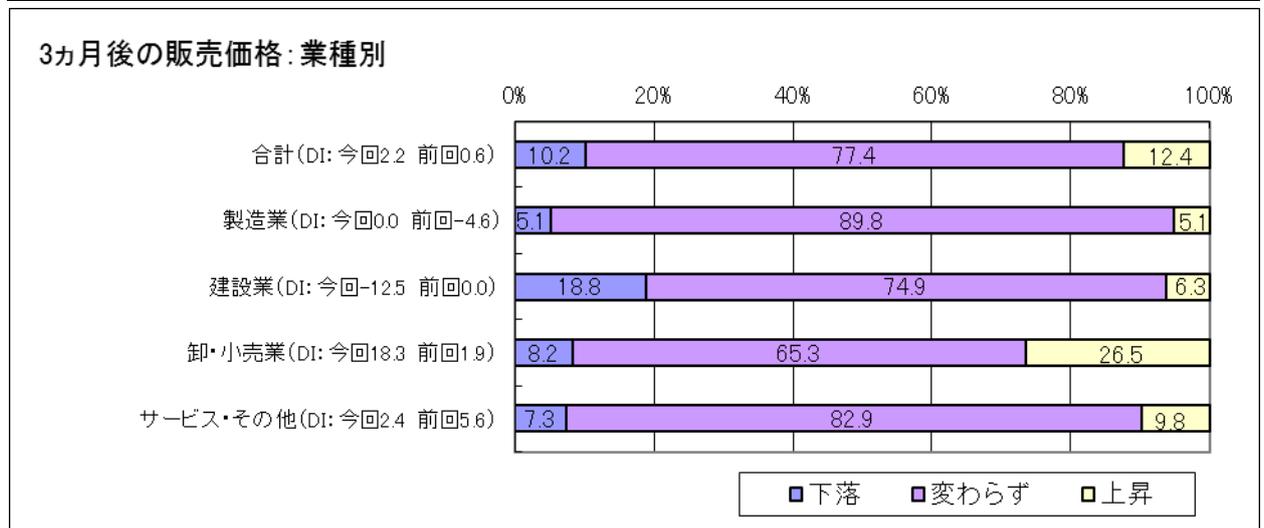
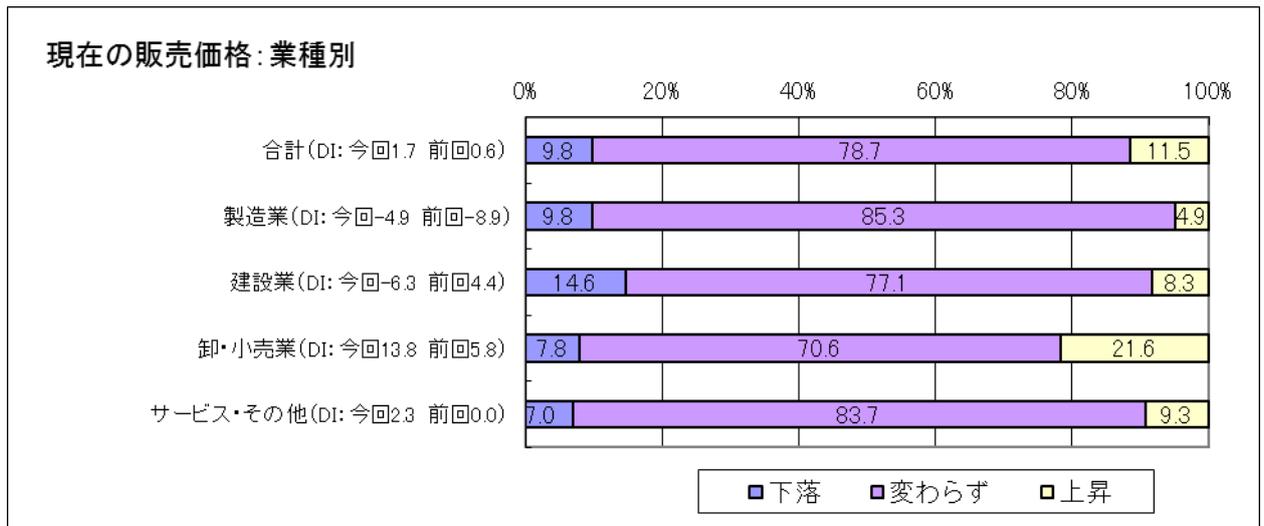
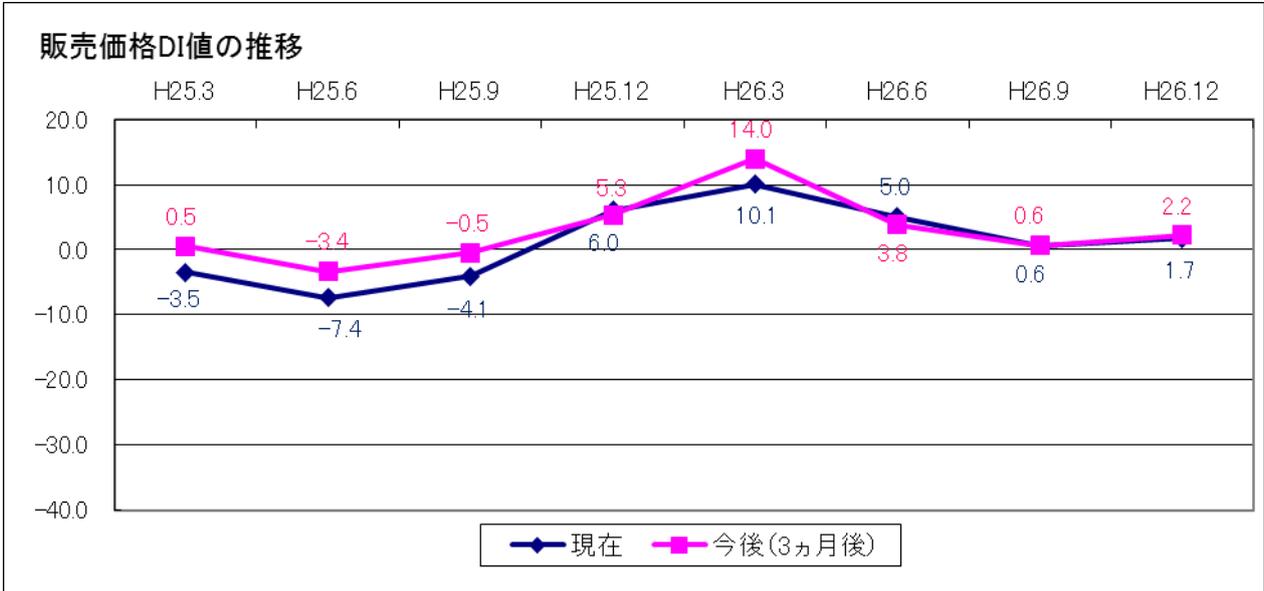


## 【販売価格(単価)】

緩やかな改善 引き続きプラス圏を維持

販売価格は、「現在」DI 値 1.7 と前回調査に比べ 1.1 ポイント上昇。引き続き DI 値はプラス圏を維持する結果となった。業種別では、「建設業」のみ前回より悪化が見られた。

「今後(3ヶ月後)」の先行 DI 値は 2.2 と、現在と比べわずかながら上昇を見込んでいる。

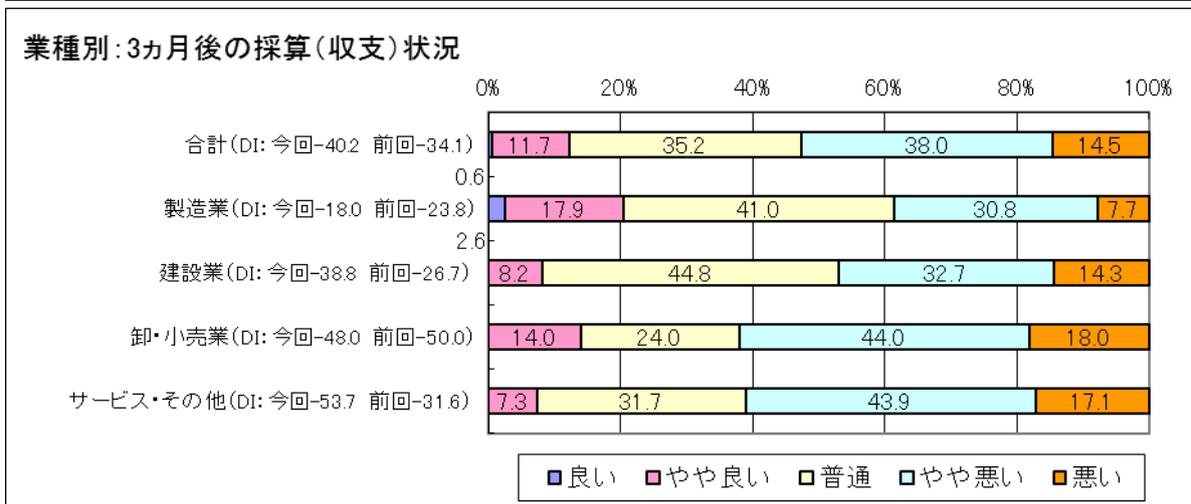
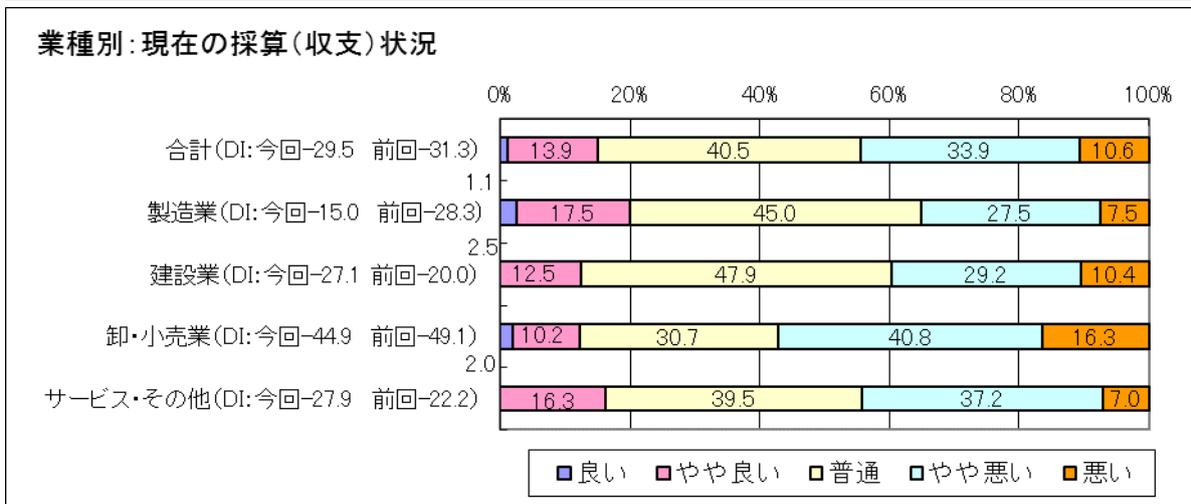
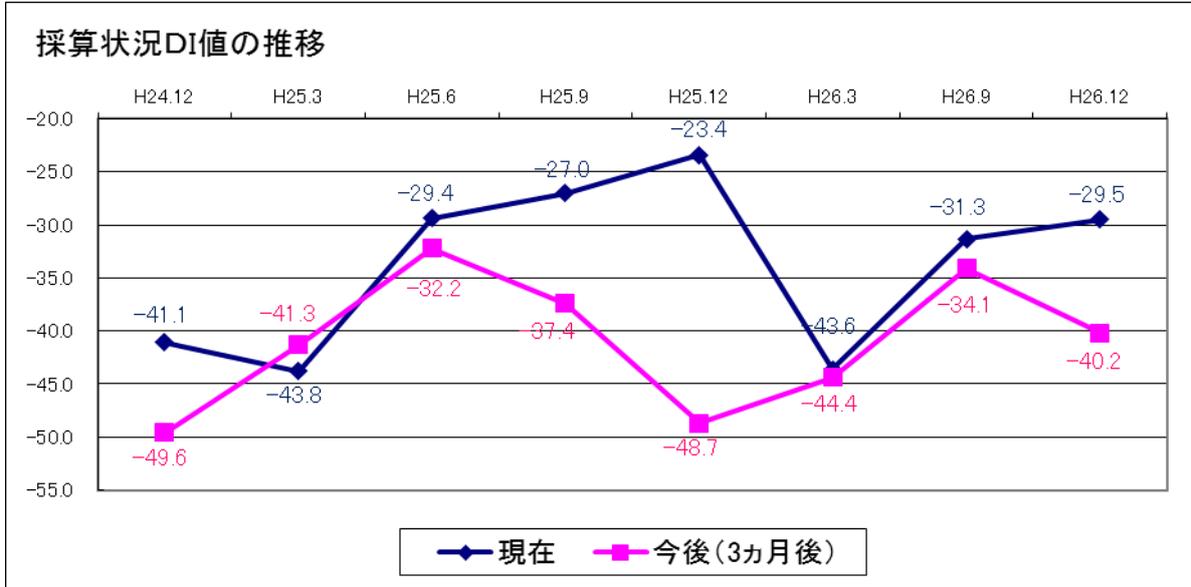


## 【採算(収支)状況】

### 売上 DI 改善により採算持ち直しの動き 先行きは悪化の見込み

採算(収支)状況について、「現在」DI 値は▲29.5 と前回調査と比べて 1.8 ポイントと緩やかな改善。仕入価格は上昇しているものの、売上 DI の改善により持ち直しの動きを維持した結果となった。業種別に見ると、「卸・小売業」と、「製造業」で改善が見られた。

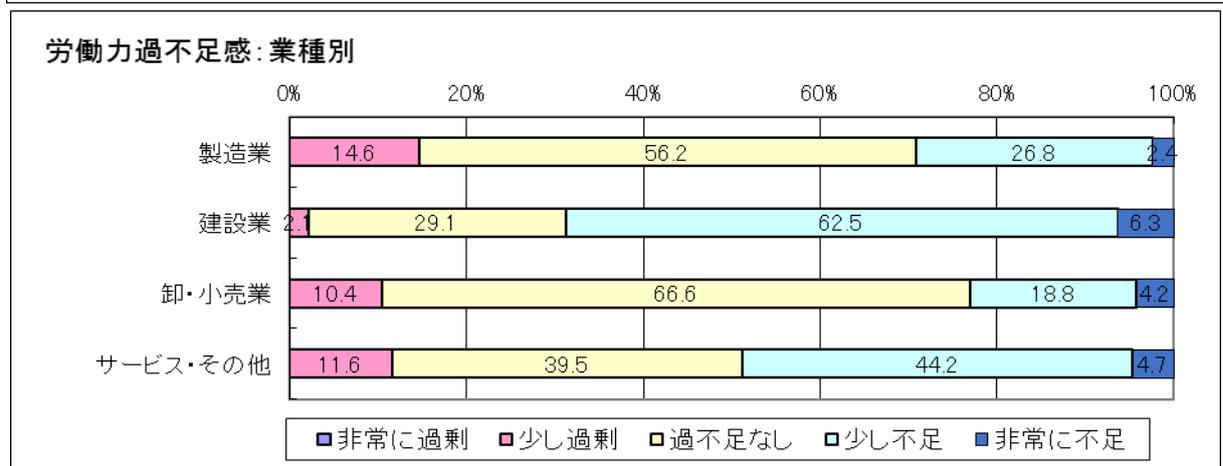
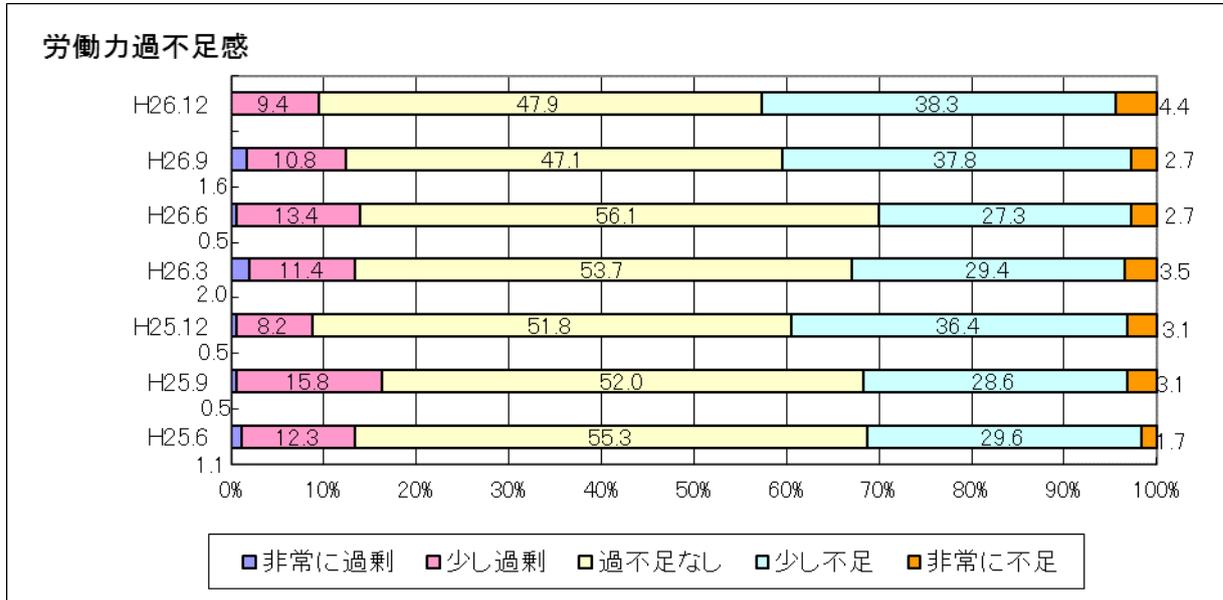
「今後(3ヶ月後)」の先行 DI 値は▲40.2 と現在と比べて 10.7 ポイントの悪化見通し。仕入価格の高止まりと売上 DI の落ち込み予想、人件費のコストアップ等により、採算悪化が懸念される結果となった。



## 【労働力の過不足感】

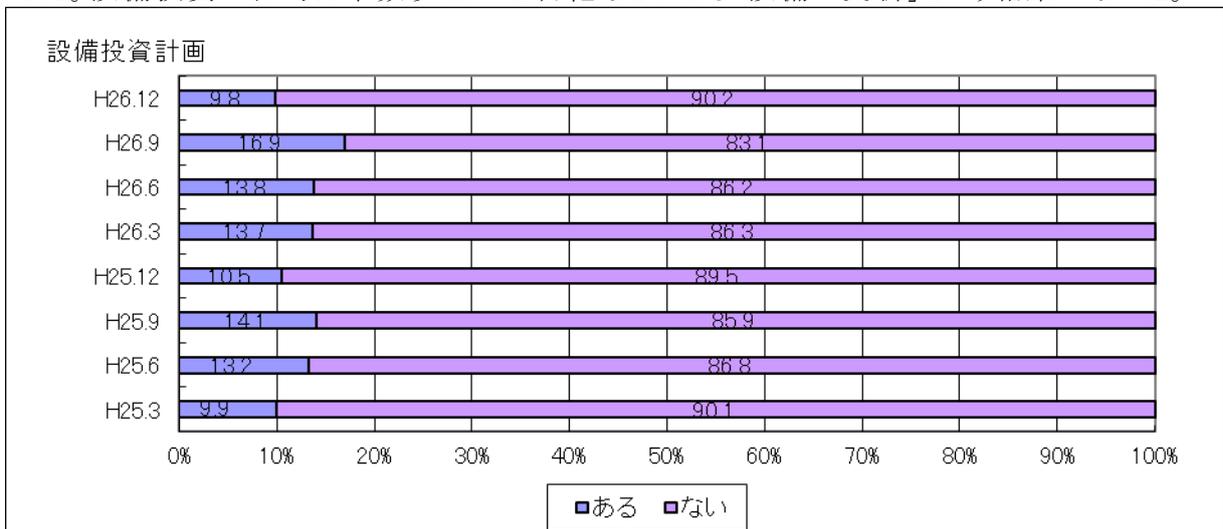
「過剰」(「非常に過剰」+「少し過剰」)と回答する企業は9.4%と前回調査より3.0ポイント減少。一方で、「不足」(「少し不足」+「非常に不足」)と回答する企業は42.7%と前回と比べ2.2ポイント増加し、前回からの不足感が広がっている。

業種別では、「建設業」で68.8%が「不足」と回答しており、他業種と比べ大きく、依然として高い不足感が続いている。



## 【設備投資計画】

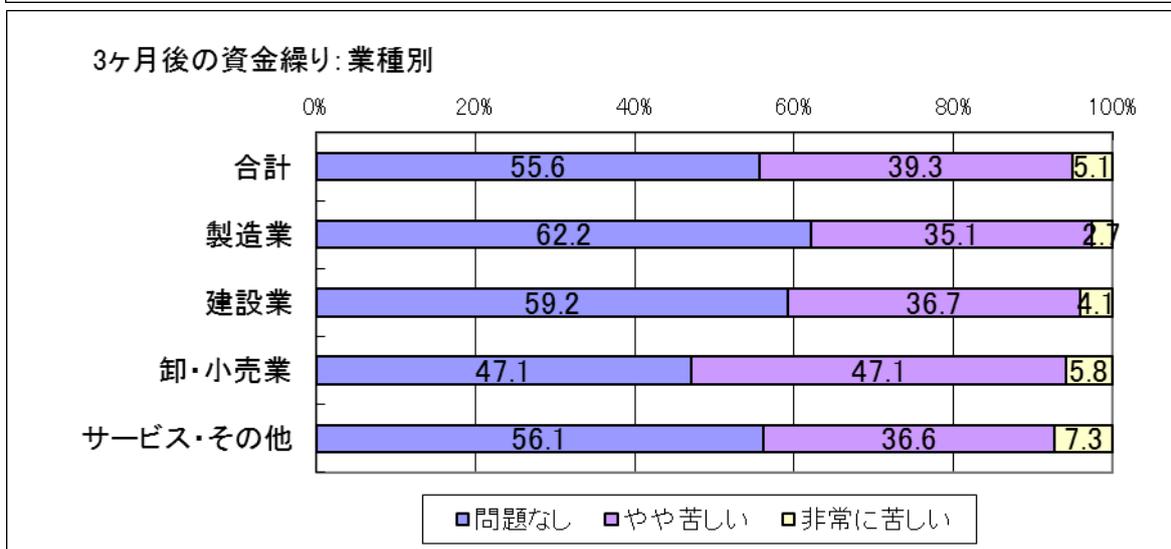
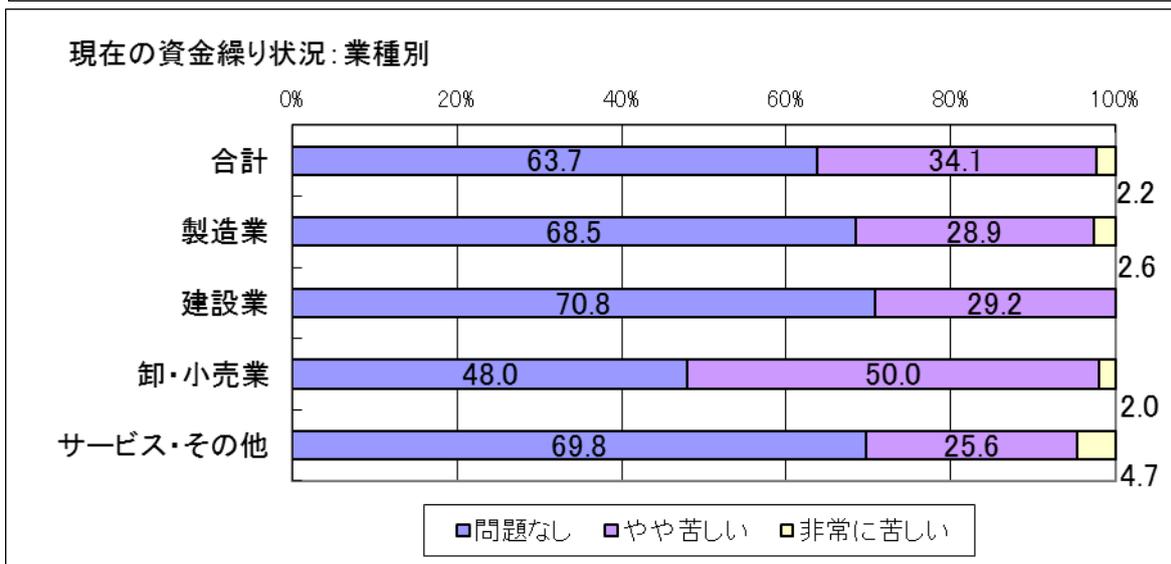
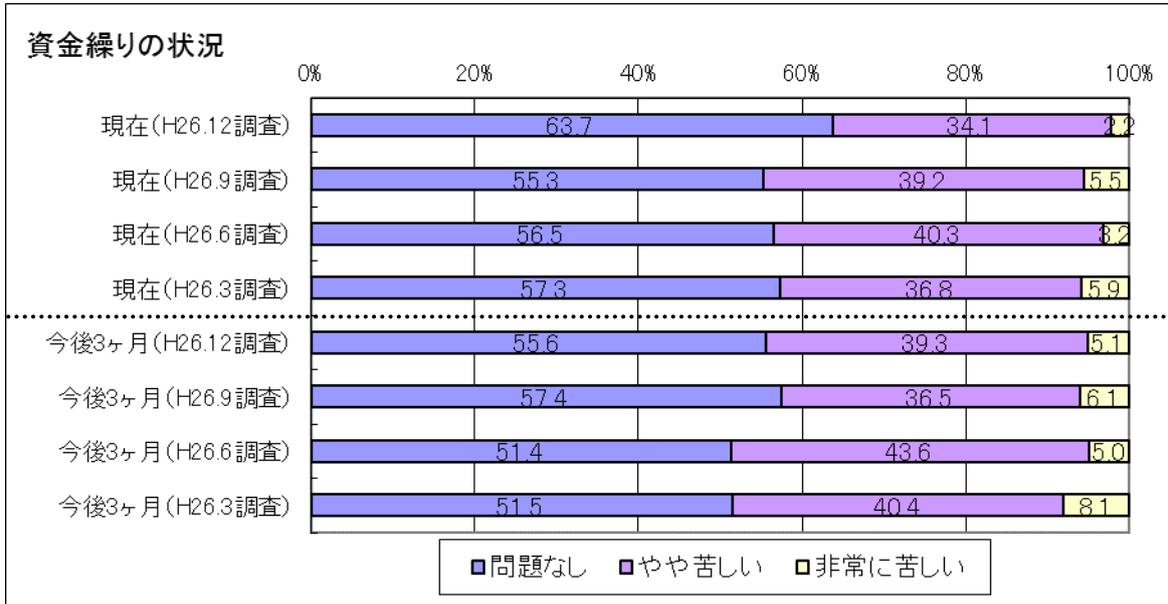
今後3ヶ月以内の設備投資計画が「ある」と回答した事業所は9.8%と、前回調査から7.1ポイント減少した。設備投資の目的は半数以上が老朽化などによる「設備の更新」という結果になった。



## 【資金繰り】

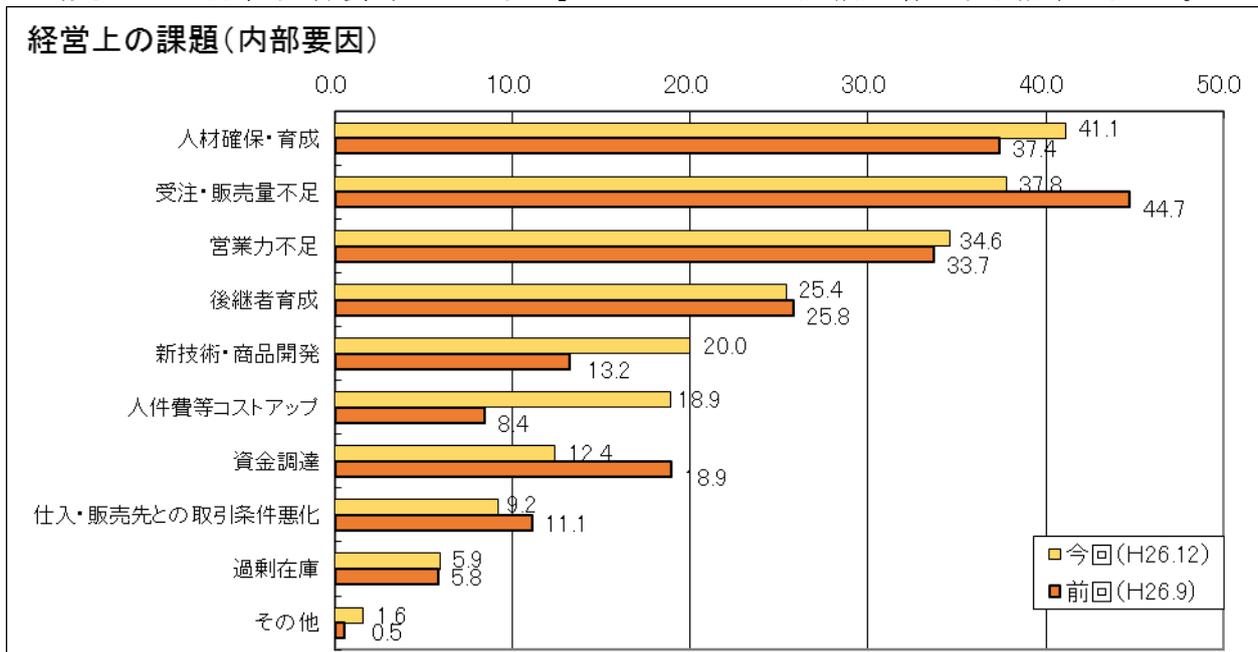
「現在」の資金繰り状況について、「苦しい」（「非常に苦しい」「やや苦しい」）が 36.3%と、前回より 8.4 ポイント改善。「採算（収支）状況」改善の動きもあり、「問題なし」との回答が 6 割を超えた。

しかし、「今後（3 ヶ月後）」の予想では、採算状況の先行き悪化見通しから、現状より「苦しい」との回答が 44.4%と 8.1 ポイント増加している。

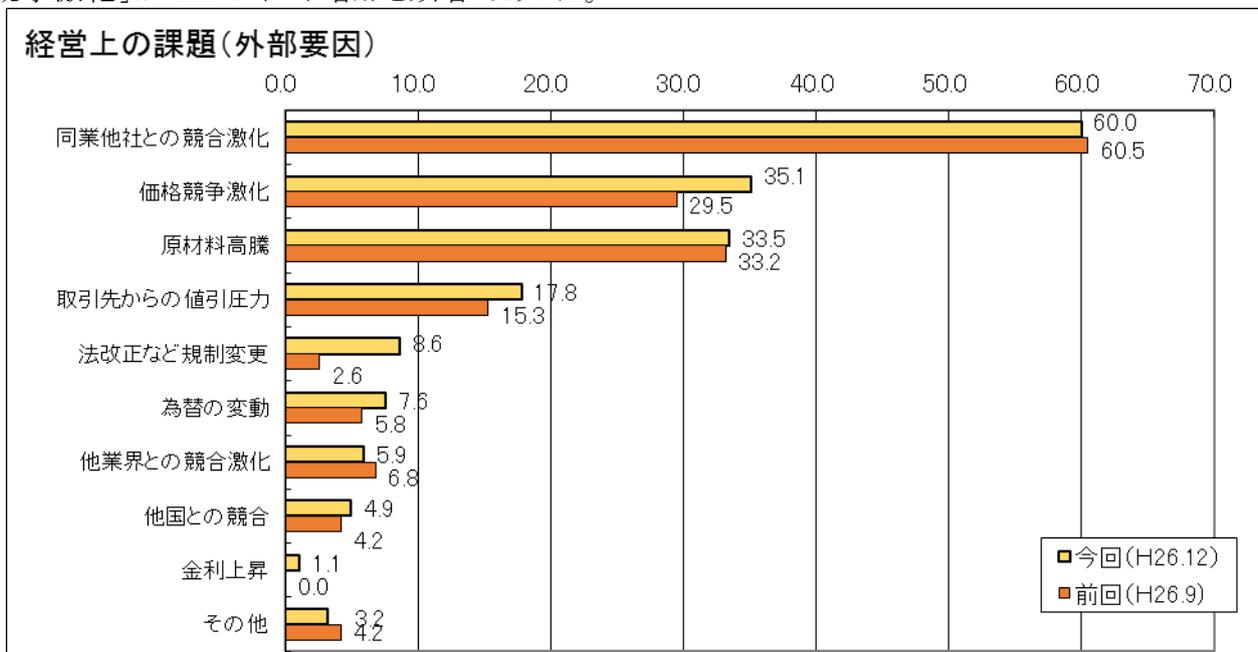


### 【経営上の課題】（複数回答）

内部要因では「人材確保・育成」と回答している事業所が最も多く 41.1%、次いで「受注・販売量不足」37.8%、「営業力不足」34.6%と続いた。前回調査と比較すると、「受注・販売量不足」が 6.9 ポイント減少した一方、「人件費等コストアップ」が 10.5 ポイントと大幅に増加する結果となった。



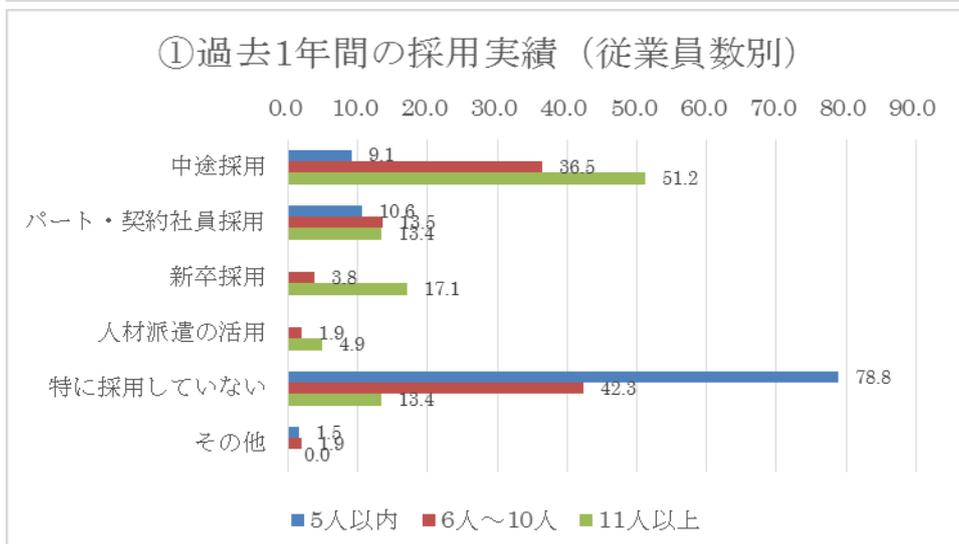
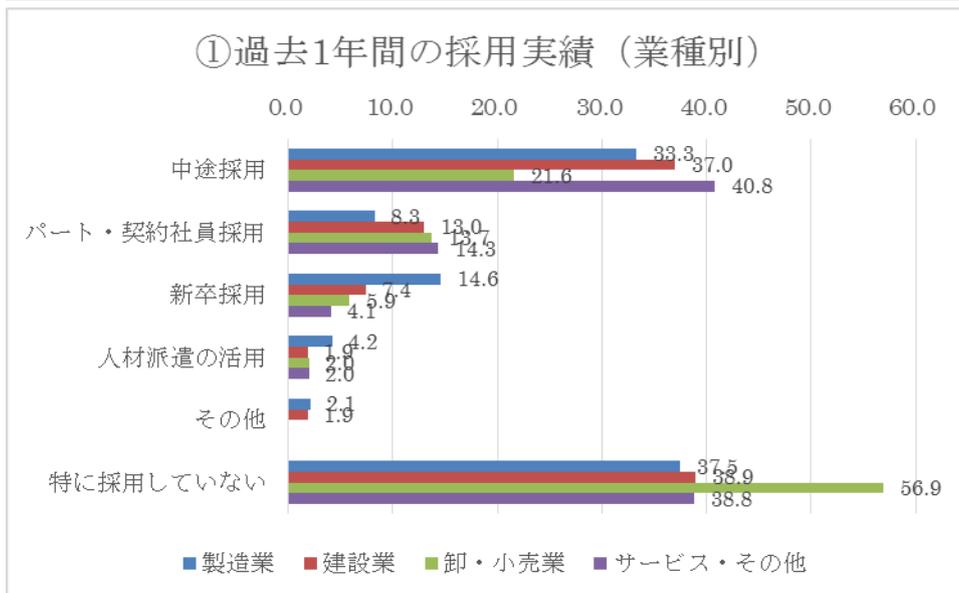
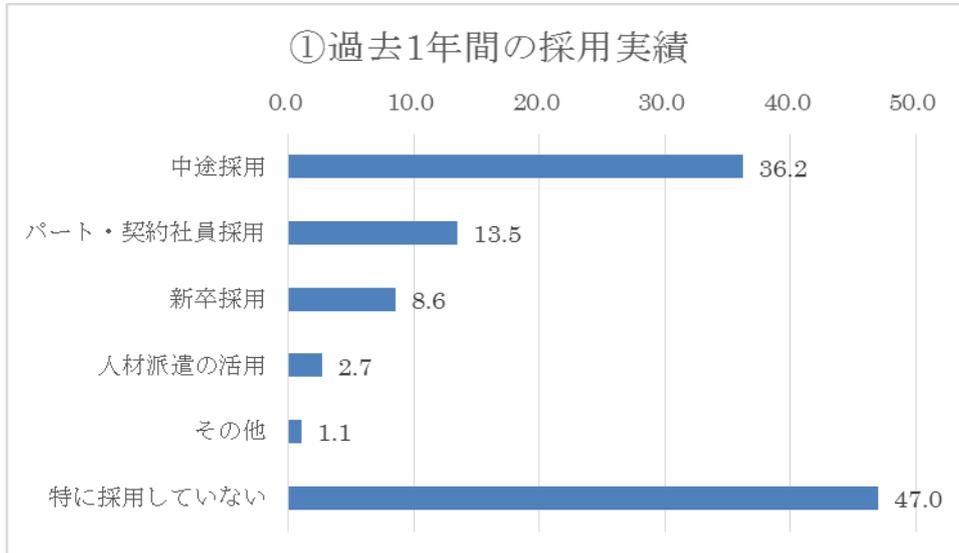
外部要因としては「同業他社との競合激化」が最も多く 60.0%、次いで「価格競争激化」35.1%、「原材料高騰」33.5%と続いた。前回調査と比べると、「法改正など規制変更」が 6.0 ポイント、「価格競争激化」が 5.6 ポイント増加と顕著であった。



## 【人材採用について】

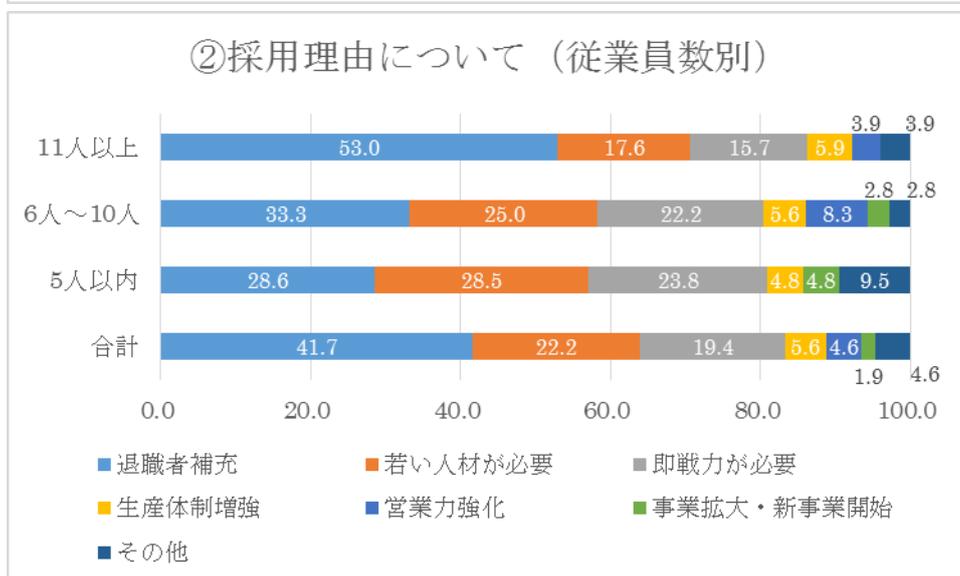
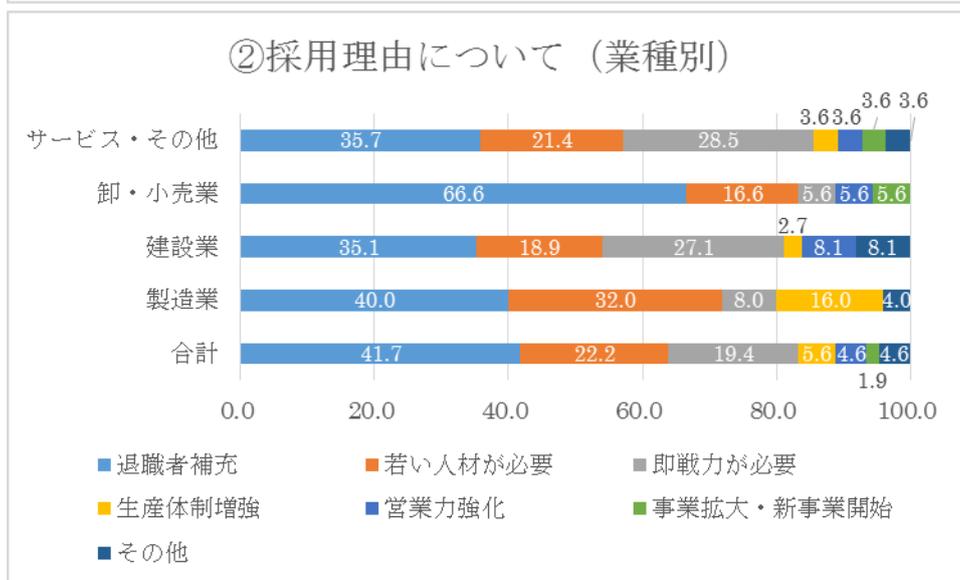
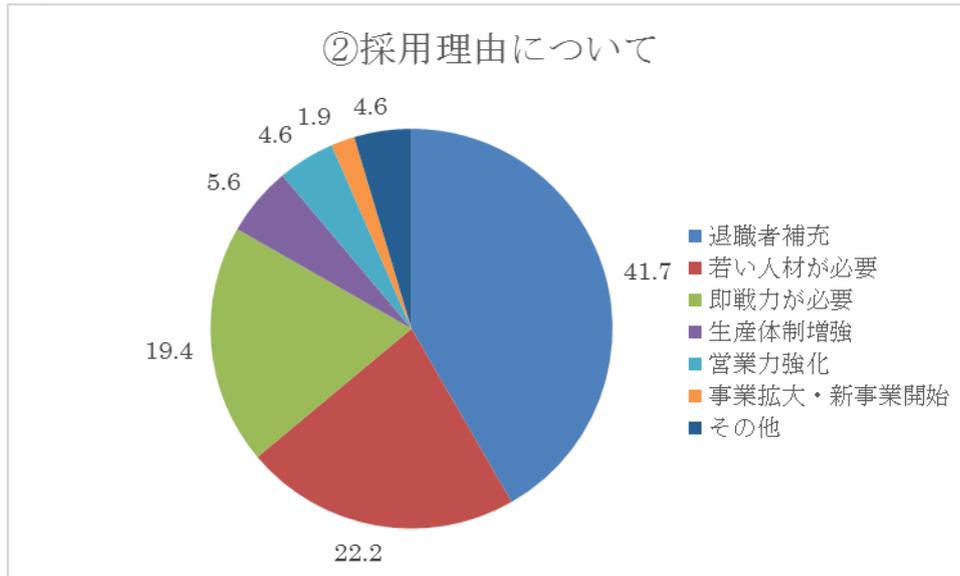
### ①過去1年の採用実績について(複数回答)

「特に採用していない」が最も多く半数近くの 47.0%、次いで「中途採用」36.2%、「パート・契約社員採用」13.5%という結果になった。業種別では、「製造業」において、「パート・契約社員採用」より「新卒採用」が上回る結果となった。また、従業員数別では、「特に採用していない」と回答した事業所が「11人以上」では13.4%、「5人以下」では78.8%と大きな開きがあり、従業員数が少ない事業所においては、採用活動を行っていない事業所が多く見られる結果となった。



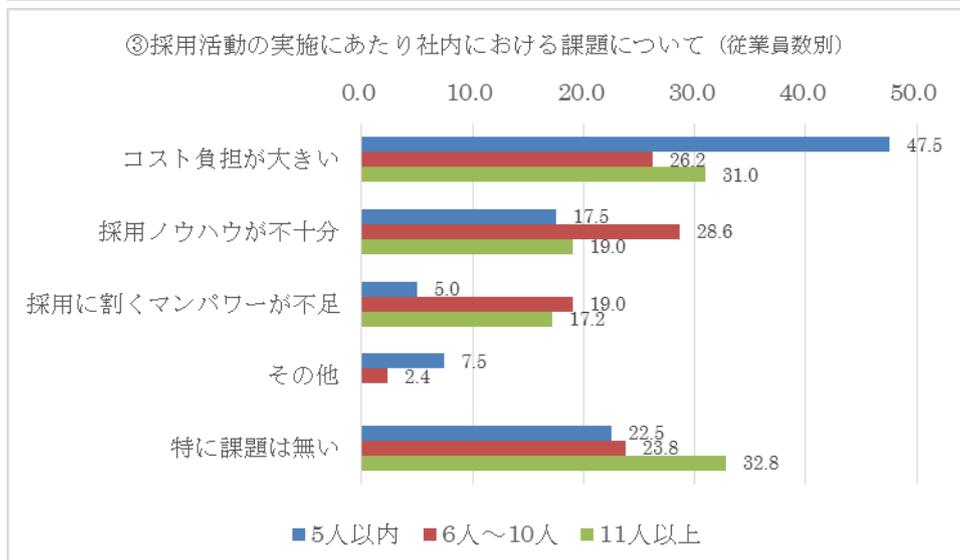
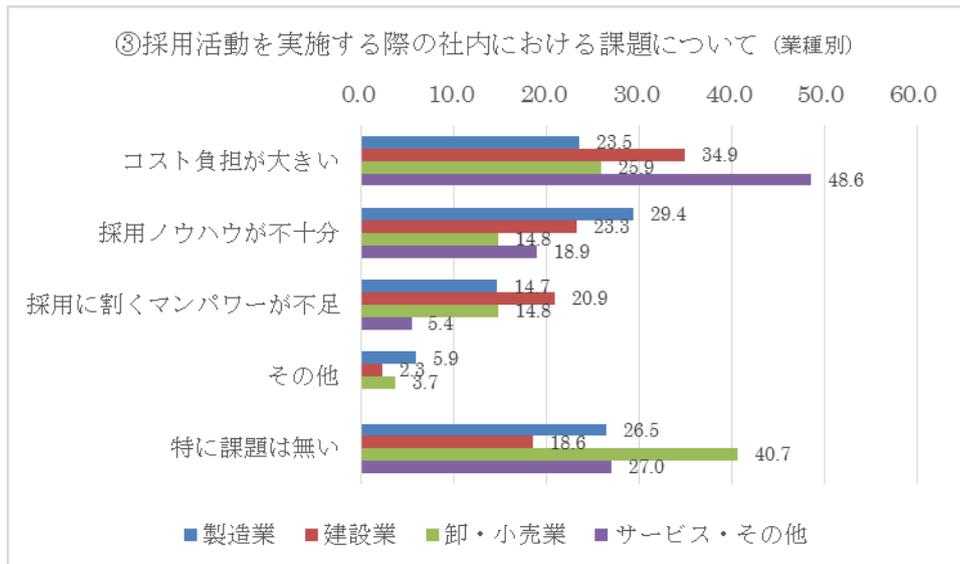
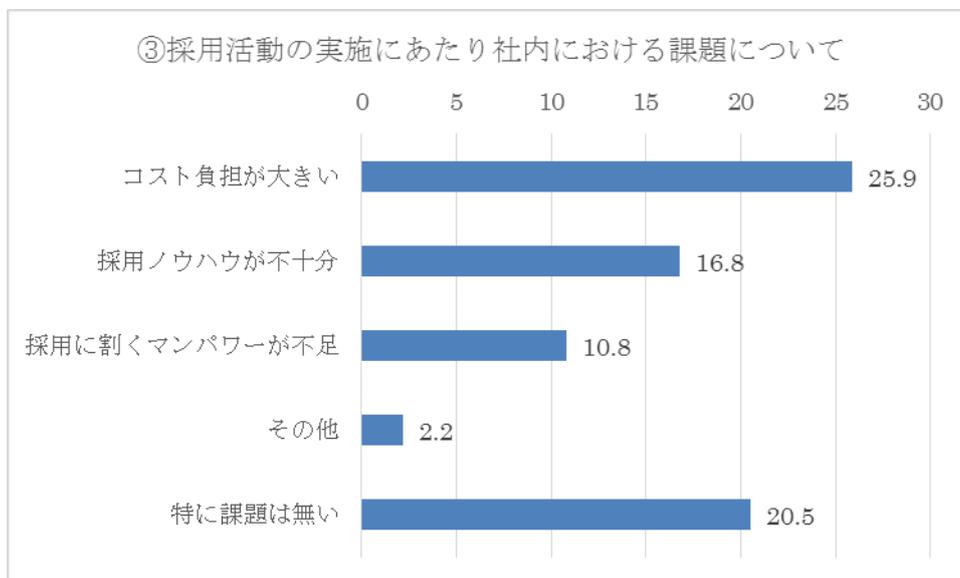
## ②採用理由について

「退職者補充」が41.7%と最も多く、4割以上の小規模事業所において、事業の維持・継続のため、労働力補填の目的での採用が行われている。次いで、「若い人材が必要」が22.2%、「即戦力が必要」19.4%となった。業種別でも同じ傾向にあるが、「卸・小売業」においては「退職者補充」が66.6%と顕著であった。



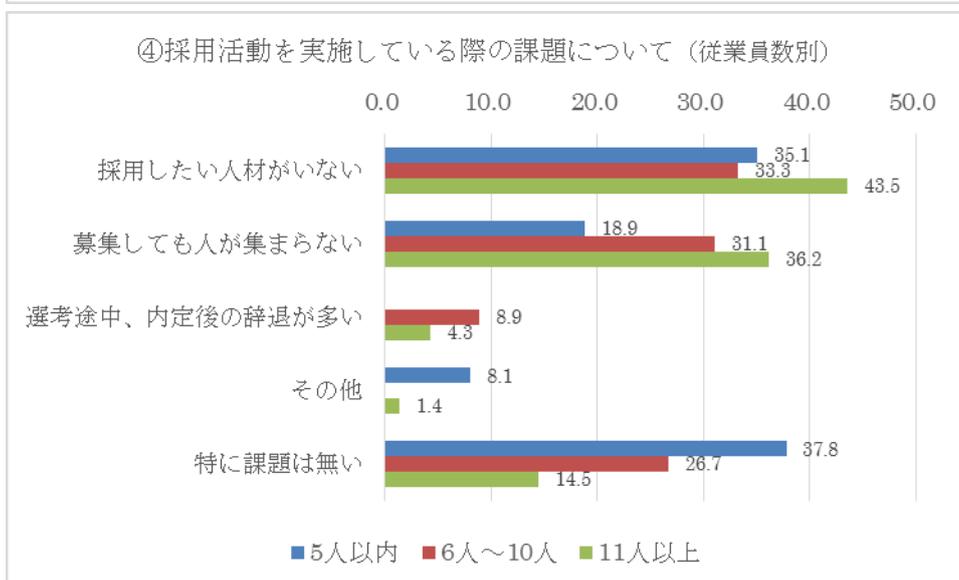
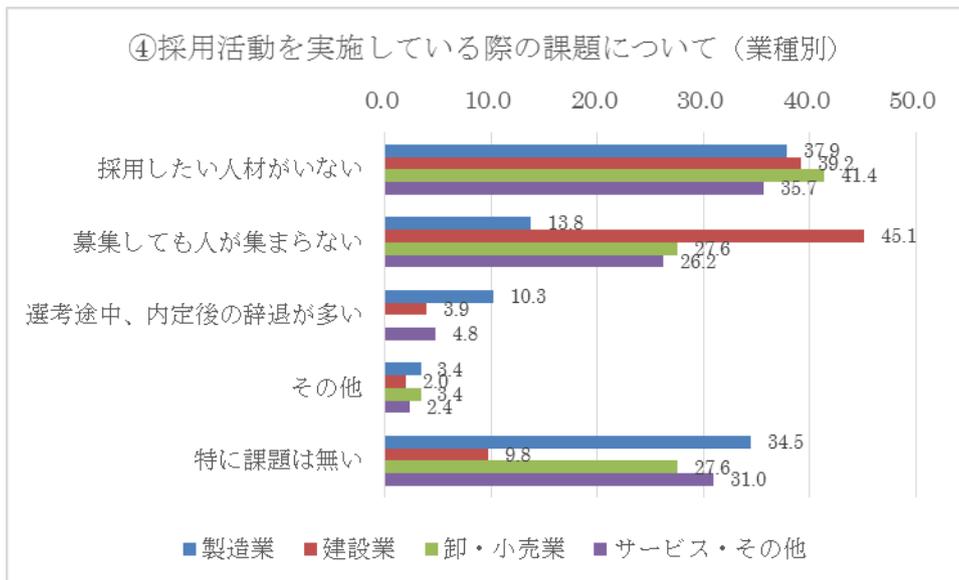
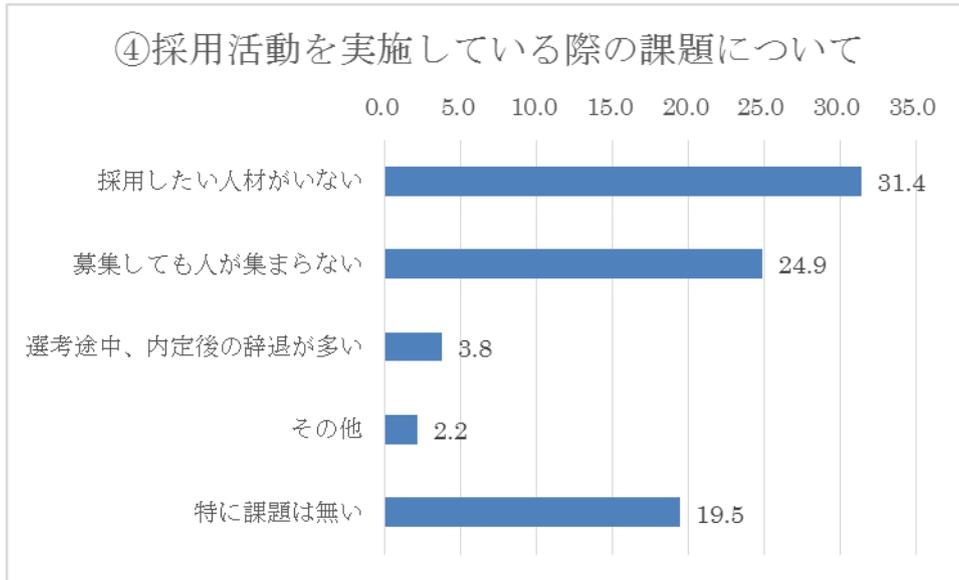
### ③採用活動の実施にあたり社内における課題について(複数回答)

採用活動の社内における課題は「コスト負担が大きい」が最も多く 25.9%、次いで「採用ノウハウが不十分」16.8%、「採用に割くマンパワーが不足」10.8%となった。業種別では、「サービス・その他」で「コスト負担が大きい」が 48.6%と半数近くを占めた。「建設業」においては、労働力において高い不足感をいっているように、「採用に割くマンパワーが不足」が 20.9%と他の業種と比べ高くなった。また、従業員数別では、「5人以下」の事業所においても、「コスト負担が大きい」が 47.5%と高く表れた。



#### ④採用活動を実施している際の課題について(複数回答)

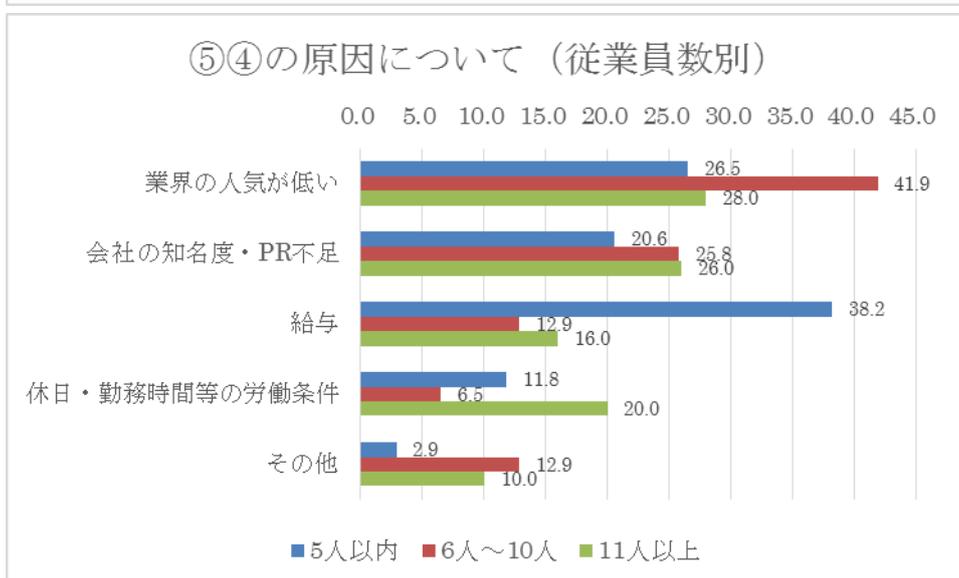
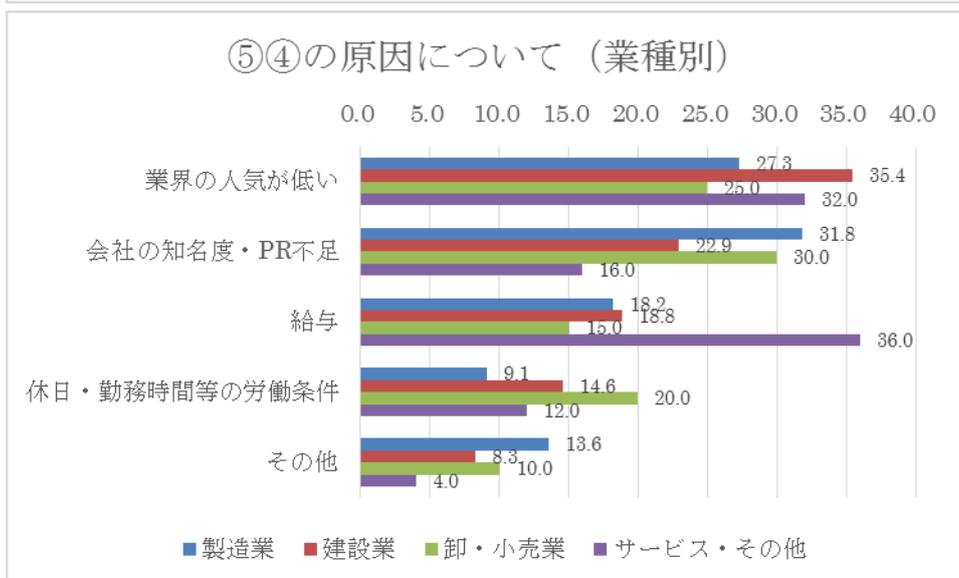
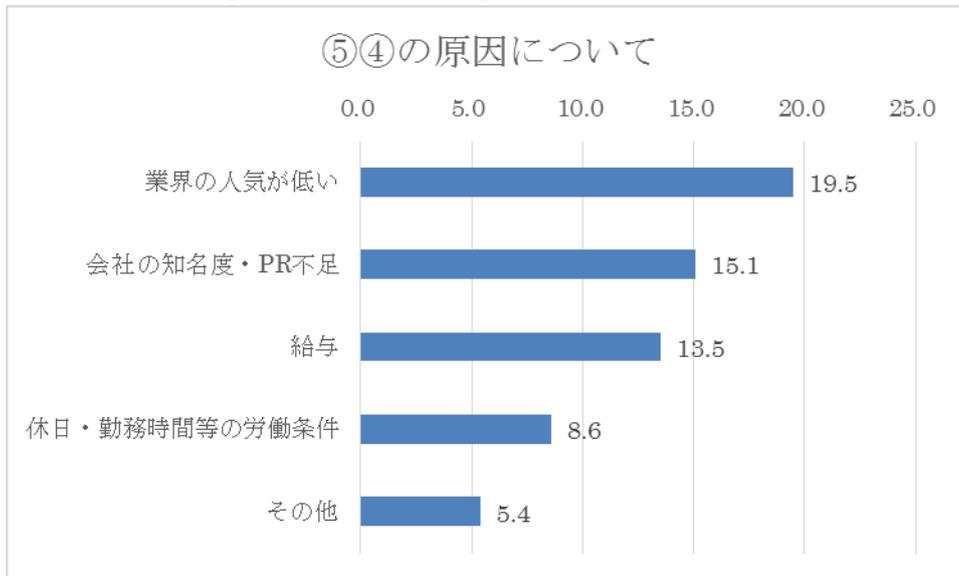
採用活動を実施している際の課題は「採用したい人材がない」が最も多く 31.4%、次いで「募集しても人が集まらない」が 24.9%となった。業種別では、「募集しても人が集まらない」と感じている事業所は「製造業」ではわずか 13.8%であったが、「建設業」では 45.1%と非常に高い結果となった。



⑤「④採用活動を実施している際の課題」の原因について(複数回答)

採用活動の外的な課題の原因について、「業界の人气が低い」が最も多く 19.5%、次いで「会社の知名度・PR 不足」15.1%、「給与」13.5%となった。業種別では、「サービス・その他」において、「給与」と答える事業所が 36.0%と多く見られた。また、④において「募集しても人が集まらない」との回答が多かった「建設業」で、「業界の人气が低い」が 35.4%と他業種と比べ高く表れる結果となった。

従業員数別でも「5 人以内」の事業所で「給与」を原因に感じるという回答が非常に高くなった。



# 福井商工会議所 景気見通し調査 各種指標推移

